

2月19日～5月19日 国立西洋美術館(上野)

世界遺産 国立西洋美術館開館60周年記念
ル・コルビュジェ
絵画から建築へ —ピュリスムの時代—



日本におけるル・コルビュジェ唯一の作品である国立西洋美術館は、2016年にはユネスコ世界文化遺産にも登録されました。ル・コルビュジェと彼の友人たちの美術作品約100点と、建築模型、出版物、映像など多数の資料を加えて構成される、またとない機会となるでしょう。

開 午前9時30分～午後5時30分 ※金・土曜日は午後8時まで
※いずれも入館は閉館の30分前まで
休 月曜日(※ただし、3/25、4/29、5/6は開館)、5/7
料 一般 1,260円(当日料金 1,600円)
※中学生以下は無料
※心身に障害のある方と付添者1名は無料(入館の際に障害者手帳をご提示ください)。

3月21日～6月16日 国立科学博物館(上野)

大哺乳類展2
—みんなの生き残り作戦—



大好評を博した特別展「大哺乳類展 陸のなかまたち/海のなかまたち」から9年、哺乳類たちが上野に帰ってきます。今回のテーマは「生き残り作戦」。剥製や骨格標本500点以上の圧倒的なボリュームで、最新の解析映像なども交えながら、哺乳類が獲得した特徴的な能力であるロコモーション(移動運動)を軸に、「食べる」「産む・育てる」際の作戦にも迫ります。

開 午前9時～午後5時 ※金・土曜日は午後8時まで。
ただし、4/28～5/5は午後8時まで。5/6は午後6時まで。
※入場は各閉館時刻の30分前まで
休 月曜日 および5/7(火) ※ただし、3/25、4/1、4/29、5/6、6/10は開館
料 一般・大学生 1,260円(当日料金 1,600円)
小・中・高校生 450円(当日料金 600円)
※未就学児は無料 ※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名様は無料。
※本展で観覧された方は、同日に限り常設展(地球館・日本館)もご覧いただけます。

3月26日～6月2日 東京国立博物館 平成館(上野)

特別展 **国宝 東寺 -空海と仏像曼荼羅-**



空海が密教の真髄を目に見えるかたちで表した、東寺講堂の21体の仏像からなる曼荼羅。本展では史上最多の15体の仏像が出品されます。国宝の11体は、全方位360度から見られるように展示され、講堂とは違った圧巻の仏像曼荼羅を体感していただけます。

開 午前9時30分～午後5時
※金・土曜日は午後9時まで。
休 月曜日、5/7 ※ただし、4/1(東寺展会場のみ開館)・29、5/6は開館
料 一般 1,260円(当日料金 1,600円)
※中学生以下は無料 ※障がい者とその介護者1名は無料。

3月20日～5月20日 国立新美術館 企画展示室2E(六本木)

トルコ文化年2019
トルコ至宝展 チューリップの宮殿 トプカプの美



《スルタン・アフメト3世の施水場 模型》1893年8月16日
トプカプ宮殿博物館蔵

イスタンブールのトプカプ宮殿博物館が所蔵する貴重な宝飾品、美術工芸品など日本初公開を多数含む約170点の至宝をとおり、花々、とりわけチューリップを愛でた宮殿の生活、オスマン帝国の美意識や文化、芸術観を紹介します。

開 午前10時～午後6時 ※金・土曜日、4/26～5/5は午後8時まで
※入場は閉館の30分前まで
休 毎週火曜日(ただし4/30は開館)
料 一般 1,260円(当日料金 1,600円)
※中学生以下無料。
※障害者手帳をご持参の方(付添いの方1名を含む)は無料。